

晃の園だより

発行 / 特別養護老人ホーム晃の園（偶数月発行）

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

**新年あけまして
おめでとうございます♪**

晃の園は成人式！？

平成20年。今年はいったいどんな一年になるのでしょうか。世界的には北京オリンピックの開催へ向け、予選などのニュースで賑わっているようですね。一年というのは本当にあつという間です。四季のうつろいを五感で感じながらも、一日いちにちがゆっくりと、しかし確実に過ぎて行きます。

時の流れは目には見えにくいものですが、かたちになって見えるもので実感することもできます。例えば子どもの成長。若いスタッフの多い晃の園は今年も出産ラッシュ。母親のおなかで十月十日過ごしたあと外の世界に生まれ出て、日に日に大きく成長していくその様子は、喜びと共に時の流れを実感させてくれます。

晃の園は今年で開設20周年。人なら成人式を迎える年です。ひとの成長と同様、この20年間の時の流れが今現在に、そして未来へとつながっていくんですね。

(主任相談員 佐野雄基)

普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中で入居者様の笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



湯気と一緒にいい匂いが～
そう今日のお昼は、これから季節の定番、「おでん」です。同じ鍋をみんなでつつく風景はまるで本当の家族のよう。やっぱりみんなで食べるからこそおいしいんですよね。



縹ユニットの入居者様は、毎回園だよりを愛読下さっています。ご本人の写真が掲載しているとニッコリ笑顔で喜んで下さいます。これからも入居者様が楽しみにしてくれるような園だよりを作りたいです。



頂いた渋柿で、入居者様と一緒に干し柿作りに挑戦。柿の皮を剥いて、紐でくくって…。入居者様は慣れた手付きでひよいひよいとこなしています。流石は人生の大先輩！いろいろ勉強になりました。

ご報告



特別養護老人ホーム 晃の園は、昨年12月25日に「天皇陛下の御下賜金」を頂戴しました。御下賜金とは、天皇誕生日に際し、天皇陛下が社会福祉事業奨励の思召をもって、民間社会福祉事業に係る事業成績優秀な施設・団体に対し、金一封を下賜されるものです。これは福祉に関わる私達の心と実績が認められたもので有難く、一同で喜びあいました。

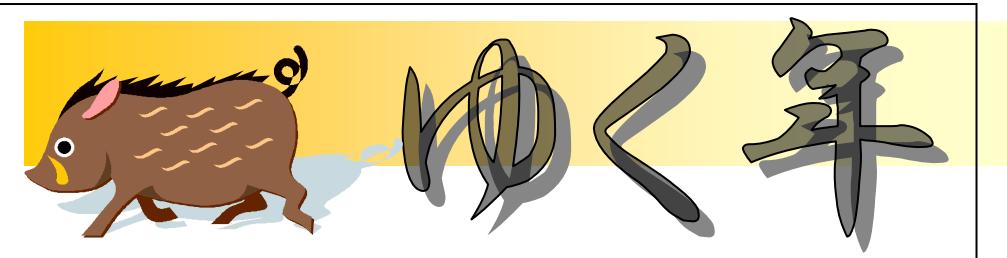
今年3月には「満20周年」を迎えることが出来ます晃の園は、多くの方々にご指導とご支援をいただきここまでまいりました。今後とも、「地域と共に」を心に刻みながら歩みたいと思います。

晃の園ショートステイから新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。晃の園ショートステイでは、利用者様一人ひとりに合ったサービスを提供できるよう、常に改善を心がけております。この取り組みの一環として、ご家族との連携を目指し送迎時の介護職員の同行や、月々の献立表の配布などを昨年より開始いたしました。今年もより良いサービスの提供を目指して、職員一同頑張ってまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、よろしければご覧ください。晃の園ホームページには「晃の園」で検索するか次のアドレスからアクセスしてください。

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>



今年もいろいろ御世話になりました

「もう今年も終わりか、早いなあ」毎年同じことを言っているのがわかっていても、つい口から出てしまうこの台詞。この時期になると誰もが感じる“時の経つ早さ”。いろいろあった一年を振り返り、来年はどんな年になるのか思いを馳せます。もしかしたら、一年のうちに自分を見つめなおすには最適な時期なのかもしれません。



今年の汚れは今年のうちに

年の瀬には楽しい催しがいっぱい！でもその前にやることがあります。そう、大掃除です。新しい年を気持ちよく迎えるためにも“今年の汚れは今年のうちに”です。ほかむりやマスク姿で大掃除に精を出される姿が園内のあちこちで見られました。



ではそろそろ始めるとしますか

「家じゃこーゆうのやったことないよ」とあっしゃりながらも、クリスマスの気分を盛り上げようと一生懸命に飾り付けをしてくださった入居者様。新人職員サンタからはとても元気なダンスのプレゼント。かわいい衣装と踊りに皆さんからは温かい拍手が送られていました。



食時の楽しみをより大きく

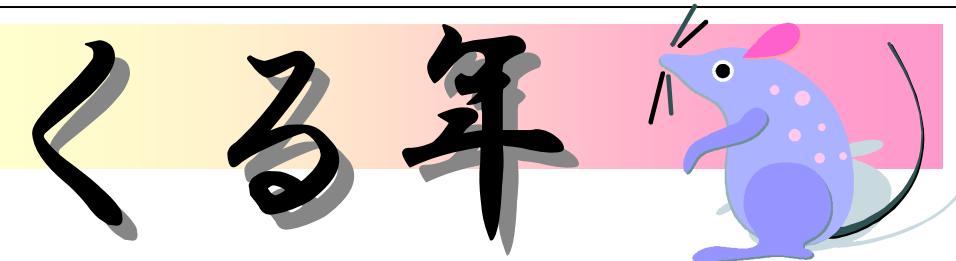
こねて、のして、切って、茹でる。ほら作りたての蕎麦のいい香りが…。こねて、ついて、返して、ついて…。しっとり滑らか、まさにもち肌。ただ食べるだけではもったいない。もっと楽しく、もっと美味しく。



掃除も済んで、クリスマス会や忘年会も楽しんで。年越しの準備はどうやら出来たようです。

今年も皆さんにはいろいろ御世話になりました。来年もよろしくお願いします。

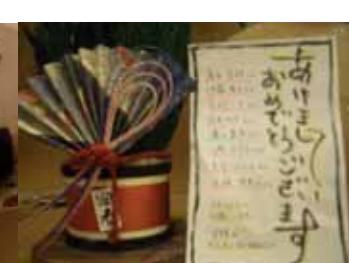
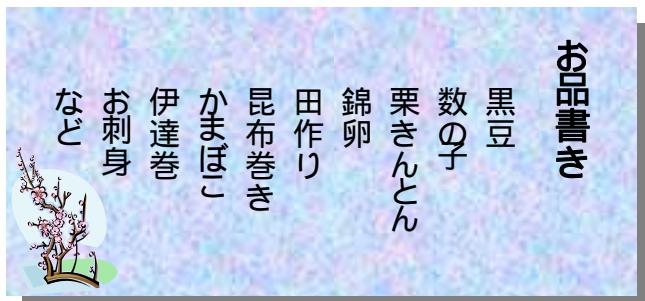




どちらから食べようか？ 美味しいおせちに舌鼓

元旦の朝、まず最初にお正月を実感させてくれるおせち料理。今年も厨房の職員さん達が手間隙かけて、見て楽しく食べて美味しいおせち料理の数々を用意してくれました。

まめ(健康的)に暮らせるように黒豆、子孫繁栄を願って数の子、富を得る縁起物のきんとん、五穀豊穰を願って田作り、などなど。重箱にも綺麗にならんだおせちの数々、さてどちらから食べましょうか。



お正月の過ごし方いろいろ

「子供の頃はよくやったねえ」と言いつつも、始めてみるとつい真剣になってしまうカルタ遊び。上手くできないほうが楽しい福笑い。今年一年の目標や抱負をしたためる書初め。もらって嬉しい年賀状。お正月の過ごし方はいろいろです。皆さんそれぞれ思い思いのお正月を過ごされました。



きっと思いはひとつ

過ごし方は様々なお正月ですが、“良い年になってほしい”という思いはきっと皆さん共通ではないでしょうか。本当に今年一年が皆様にとってよい年になりますように。

